

議会だより

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第101号 2020年11月20日

表紙写真コンテスト
採用者 川西健吾さん

（説明は4ページ）

- p2 町民と意見交換 ～三笠山大学・議会報告会～
- p6 こんなことが決まりました 交付金の使い道
- p8 町政を問う。 一般質問に5議員が登壇
- p13 初の10月開催、きびしく審議！～決算審査特別委員会～
- p16 視察報告 ～最大限の医療サービスを～
- p18 町民インタビュー聞かせて こどもが集える場所を



～コロナ禍の中、三密を避けて開催～ 町民と意見を交換



8月21日に三笠山大学と町議会との懇談会、そして10月22、23日には4つの会場で議会報告会を開催しました。

コロナ禍での三密を避け、各席の間隔を開け十分な換気を行い、マスク着用の元で懇談会を進めました。町民の皆さんと活発な意見交換を行うことができました。

議会からはこんな報告をしました

■産業教育常任委員会

- プレミアム付商品券事業について
- GIGA（ギガ）スクール構想について
- 公営住宅若草団地の整備計画について
- カントリーエレベータについて

■議会広報委員会

- 議会動画配信の状況について
- 議会広報コンクールの入選について

■総務福祉常任委員会

- 財産の管理状況について
- ごみ処理方法について

■議会活性化等特別委員会

- 委員会の設置について

■医療及び福祉施設等調査特別委員会

- 町立和寒病院の医療体制について

参加者アンケート集計結果（抜粋）

三笠山大学

●あなたの年代と性別は。

区 分	男	女	未回答	合 計	率
60代	0	2	0	2	9.5%
70代	4	9	0	13	61.9%
80代	6	0	0	6	28.6%
合 計	10	11	0	21	100.0%

●本町議会議員の定数は現在10名ですが、議員定数についてどう思いますか。

現状でよい	13	61.9%
削減すべき	6	28.6%
増やすべき	0	0.0%
わからない	2	9.5%
合 計	21	100.0%

（参加者23人中21人回答
回答率 91%）

●このような懇談会を今後も行うべきだと思いますか。

継続したほうが良い	17	81.0%
しなくても良い	1	4.7%
どちらでもよい	3	14.3%
未回答	0	0.0%
合 計	21	100.0%

●全国でも議員のなり手不足は大きな問題となっていますが要因はなんだと思いますか。

報酬	4	10.5%
高齢化	11	28.9%
人口減	8	21.1%
個人への負担が多い	2	5.3%
議会に関心がない	9	23.7%
その他	1	2.6%
未回答	3	7.9%
合 計	38	100.0%

※複数回答あり

議会報告会

●あなたの年代と性別は。

区 分	男	女	合 計	率
40代	1	1	2	9.1%
50代	2	0	2	9.1%
60代	9	0	9	40.9%
70代以上	9	0	9	40.9%
合 計	21	1	22	100.0%

（参加者22人中21人回答
回答率 95%）

●あなたのお仕事は。

農林業	建設 鉱工業	商業 サービス業	公務員 各種団体	主婦(夫)	その他	未回答	合 計
14	2	0	1	0	4	0	21
66.7%	9.5%	0.0%	4.8%	0.0%	19.0%	0.0%	100.0%

●議会活動の報告はどうでしたか。また、理由があればご記入ください。

わかりやすかった	わかりづらかった	どちらとも言えない	未回答	合 計
16	0	3	2	21
76.2%	0.0%	14.3%	9.5%	100.0%

意見交換

三笠山大学



Q 町内のカラスについて、夕方になると電線に並び、見ていると気持ち悪い。

もっと対策をしてほしい。

A 昔からカラス対策は難しく、電線に留まらないように、鳥よけが付いている所はいなくなりましたが、カラスは住みやすい所に集まる。試験的にゴミステーションを囲み、カラス対策を研究しているのですが、効果があるような話も出ています。(9月定例会にてゴミステーション整備事業補助100万円が計上)

Q 新型コロナウイルス感染症について、風評被害が出ている。

A 優しく見守っていかねければならないと思う。感染した場合にいいじめにならないよう対策を町の方に申し入れていく。(広報わつさお9月号で、コロナ感染への偏見や差別をなくすためのお願いが掲載されています)

Q このままでと人口がどんどん減ってしまう。どうしたら町の人口が増えるか。何とか議員も努力して頑張りたい。

A 人口減は一番の課題。そこで働く人が生活できるようなシステムを作り、ここに住めるような町づくりを提唱してきている。日本の人口が大幅に減少しており、市町村の人口は上川管内23市町村でも大幅減となっており、人を増やすのは至難の業と思っているが、肝に銘じて努力して参りたい。

Q 無床診療所化、来年4月からは早すぎないか。幌加内町は3年ほどかけて診療所になっているとか。19床までいらないが10床位ベッドを置けないか。月に2回、3回訪問診療を可能であればしてほしい。

A 非常に拙速だと思う。議員もそう思っている。色々な角度から検討している。赤字だから病院をやめろという事にはならない。

訪問診療は法的な定めがあるのでそれに基づいてやっていくしか

方法は無いと思う。将来の不安を十分受け止めながら論議していきたい。

Q 町の財政を考えたら無床診療所はやむを得ない。

ただ町民説明会もたった1回で終わらそうなんておかしい。

大事な事なのでもっと人を集めて話をしたいかないといけないと思う。

A 行政と議会が一体となつて、町民に理解してもらいながら今後どうしていくか議論している。

Q 和寒消防に救急救命士は何人いるのか。

A 救急救命士は5名で、365日24時間体制でシフトを組めるようになっていてる。

表紙の説明

ワットサム

表紙写真コンテスト

採用者決定

8月から募集していましたが表紙写真の結果です。

採用者は、川西健吾さんの「かぼちゃランタン」に決定いたしました。

第21回わつさおかぼちゃランタンまつりも、新型コロナウイルス拡大の影響が心配されましたが、例年通り行われました。

川西さんは、昨年の金賞受賞者で、今回は残念ながら金賞は逃しましたが、表紙写真コンテストには、見事採用されました。おめでとございます。



議会報告会

Q 町から自治会へ補助金をいただいているが、いつまで貰えるのか。

戸数も減りいろいろな部分で難しい運営をしている。

A 自治会の役員に成り手がいないことなどは聞いている。

自治会の規模も合わせて提案していただければ、行政と話を進めていけると思う。

Q 最近、全国的に農機具などの盗難があいついでいる。

防犯カメラの設置を考えてはどうか。

A 以前、学校周辺に、防犯カメラを設置する件で一般質問があったが、そのような考えは無いということだった。

た。
改めて行政と相談していく。



Q インフルエンザの予防接種について、毎年行政で支援してもらっている。

今年はコロナもあり子どもたちと65歳以上は無料だが、それ以外の人たちに対して助成はないのか。

A 今年から助成はなく、3000円の自己負担となる。

Q 予防接種を受けた後に還付の知らせが来だが、わずかな間に方向転換したのか。

当初からやれたのでは。

A 予防接種の補助について、議会が聞いたのは10月に入ってから。インフルエンザに関して、地方創生臨時交付金が使えないか提案していれば良かった。

Q 町で組み立て式のゴミ箱を実験しているが、出すのも片づけるのも高齢者で大変。鉄箱を作って欲しい。

A 固定式になると、設置する際に地主の了解が必要になる。

交付金で1万円の補助が出るが、町内業者で大量に作れば安くなるかなど、町と議論したい。

●紙面の都合により、内容の簡略化やすべての意見が掲載できておりませんのでご容赦願います。
また、多くのご意見をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。

Q カントリーエレベーターは、和寒町の施設で条例を定めている。そのため、JAがいろいろな使い方をしたくてもできない。

今後のことを考えれば、JAに渡しても良いのでは。

A 平成13年から稼働して20年が経ち、大改修も多くなつた。

米の面積が減り利用率が減れば赤字になるということ、一昨年から和寒町の麦を受け入れており、来年から剣淵町、士別市の麦も受け入れることとした。今回の改修にしても、町が起債を使い、残りをJAが支払うが、その辺のバランスも見ながら、今後議論していく。

町民に開かれた議会を目指し、議会からの情報発信、情報公開等を積極的に行うため、一般質問の動画を配信しています。
和寒町議会ホームページから閲覧することができます

<https://www.town.wassamu.hokkaido.jp/>

お問合せ：gikai@twon.wassamu.lg.jp

議会では新たにYoutubeチャンネルを開設しました。
一般質問終了後、随時動画をアップロードしていきますので、ぜひQRコードからチャンネル登録をお願いします。



▲Youtubeチャンネル

議会動画



9月 定例会

あらまし

9月定例議会（第3回定例会）は、令和2年9月17日から18日にかけて開催され、人事案件や補正予算などを審議し、可決しました。

また、一般質問では5人の議員が登壇し、意見書4本を可決して閉会しました。

なお、今定例会の傍聴者は延べ11人でした。

地方創生臨時交付金とは、新型コロナウイルス感染症に対する地方の事業を補助するために国から交付されるお金です。自治体によって交付限度額があらかじめ定められており、その限度額まで色々な事業に交付されるものです。

和寒町では、現在2億3072万円までとなっており、各種事業を地方創生臨時交付金で行っています。

感染対策は

～地方創生臨時交付金の使い道～



専決処分

「小中学校教育用タブレット」

コロナウイルス対策事業として、児童用タブレット型PC230台の購入を専決処分し、それを承認しました。

「コロナ対策事業」

コロナウイルス対策に関わる換気対策工事や、プレミアム付商品券発行事業などについて、総額6073万円の補正予算を専決処分し、それを承認しました。

主な質疑

問 小中学校の消毒作業は教員が行っているのか。

またサーキュレーター導入の成果は。

答 スクールサポーターを募集しているが、現在は教員が行っている。

換気対策で効果が出る。

ている。

9月の猛暑日に間に合ったので、今後も活用したい。

補正予算

コロナウイルス対策事業に関して、総額で3億2039万5千円の増額補正を可決しました。

「ゴミステーション施設整備事業」

問 ゴミステーションの今後の方向性についてどうか。

答 町で効果検証中のフエンス型ゴミステーションを、各自治会に見てもらっている。来年以降ごみ収集の在り方が変わる可能性もあるので、継続して検討していく。

※各補正予算については7P左下にある表をご参考ください。

新型コロナウイルス

小麦受け入れ拡大

条例改正

〔南宗谷線地区米穀類乾燥調製貯蔵施設設置条例の一部改正について〕
カントリーエレベータに令和3年から剣淵町・土別市で生産された小麦を受入れできるよう条例を改正し、これを可決しました。

主な質疑

問 費用負担はどのような形になるのか。剣淵町・土別市からの負担はあるのか。

答 カントリーエレベータの導入に際して、当時土別市や剣淵町が関わった経緯はない。それを踏まえ他町村に責任を求める考えは今のところない。

問 利用者の半分は和寒町以外になっている。

負担について剣淵町・土別市と協議しないのか。

答 行政は信用関係から連携しないといけない中で、途中でこういう状況になったから負担を求めるというのは難しい。これからの指定管理者である農協とはしっかりと協議をしていく。

財産取得

〔圃場管理システム備品一式〕

システム端末の更新と新設について、財産の取得を可決しました。

主な質疑

問 新規端末ということだが、これまでは必要だったが使っていないのか。

答 土地改良係が建設課に移ったので、2階にもシステムを導入した。

問 圃場管理システムそ

のものを今後更新することはあるのか。

答 地図情報の更新は高額の、前回の更新は15年前に行った。

大きく変化するものではないので毎年更新はしていない。

報告

〔令和元年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告〕

和寒町の財政状況は健全である旨の報告がありました。

人事

〔教育委員会委員の任命〕
吉田隆宏氏（西町）を任命することに同意しました。（任期4年）

〔固定資産評価審査委員会委員の選任〕

八島邦彦氏（朝日）を選任することに同意しました。（任期3年）

各会計補正一覧表

（※1万円未満切り捨て表記）

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	51億7716万	3億2039万	54億9755万
主な増減内容			2億2359万
（※抜粋掲載のため、各事業補正額と補正額の合計は合致しません。）			
	○高度無線環境整備推進事業負担金		7300万
	○南宗谷線地区米穀類乾燥調製貯蔵施設改修工事		676万
	○住民基本台帳・戸籍情報システム改修業務委託		100万
	○ゴミステーション施設整備事業補助		
介護保険特別会計	5億9973万	802万	6億775万
保険事業勘定			
主な増減内容			573万
	○介護給付費負担金国庫・道返還金		125万
	○地域支援事業交付金国庫・道返還金		



問 防災体制の強化を 答 引き続き災害対策に取り組む



小野田久美子議員



問 スピード感を持った行財政改革を 答 持続可能な自治体になるよう鋭意努力する

防災体制の強化を

8月26日に発生した停電への対応と、防災対策の取り組みは。

奥山町長

8月26日午後6時30分頃、町民から役場に停電への問い合わせがあり、速やかに北海道電力に連絡した。

付近での事故や支障木、断線などの確認に町職員が巡回し、防災無線で町内の一部に停電が発生していることを知らせ、停電が発生して屋外にいた住民に対し、情報を提供した。

停電は、当日午後8時43分に復旧した。

北海道電力の説明では、町立病院南側にある電柱設備の変圧器のヒューズが経年劣化で故障したため、7戸の住宅で停電が発生したとのこと。

町では、北海道電力に対し、停電時における連絡先のPRと、小さな範囲の停電にも迅速に対応できる体制を申し入れた。

一昨年9月に発生した胆振

東部地震によるブラックアウトの経験や、新型コロナウイルス感染症予防も念頭に、大規模停電における必要な物資の確保に努め、各自治会における災害訓練の支援と、町民の方々への防災意識高揚を図るなど、引き続き災害対策に取り組む。

○再質問

町職員は、避難訓練や研修等を毎年実施しているのか。

広富副町長

避難訓練について、毎年はしていない。

過去には、職員が利用者を誘導し庁舎外に避難する訓練や、心肺蘇生の救急訓練や非常食の配給の訓練などを実施した。



▲和寒中学校の1日防災学校

超高齢化社会に向けてスピード感を持った行財政改革を

本町の人口は、本年8月末現在3,255人で、65歳以上の高齢化率は、本年4月1日時点で約44・1%と2・3人に一人が高齢者である。

健全で持続可能な町政を運営していくために、スピード感を持って改革しないと、必要な事業がでなくなるのではと危惧する。

今後、行財政改革をどのように進めていくのか。

奥山町長

平成30年度から、歳入の安定的な確保と効果的な歳出の実行を見直しの重点として、442項目の事務事業の点検結果を基に、行政事務見直しプランを令和2年3月に公表した。

事務事業や町立病院の見直し、芳生苑の建て替えと運営のあり方など、現在の町の大きな課題に全力で取り組みながら、和寒町を持続可能な自治体にしていくよう鋭意努力する。



▲9月町長と商工会女性部の意見交換会

○再質問

町民への情報開示や意見を交える機会を作り、行財政改革をより良いものに進めては。

奥山町長

毎年のように町政懇談会で地域を回り、町民の意見を真摯に受け止めて町政に反映してきている。

町民の皆さんから、たくさん意見をいただく機会も作りたい。

また、住民サービス向上や財政改革などのバランスを考えていく必要がある。

中原浩一議員



問 光回線で行政としてのネット活用は
答 オンライン授業や行政情報の配信に活用

問 新たな農業委員会会長としての抱負は
答 行政に対して意見する役割を担う

光回線で行政としてのネット活用は

コロナ禍の中、新たな生活スタイルとしてウェブ会議の需要が高まっており、本町の農村エリアにも光回線が整備されることから、行政としてどのような活用が考えられるのか。

奥山町長

NTT東日本が事業主体となつて、町全体にできるだけ早く光回線が整備できるよう、事務手続きを進めている。

光回線が整備されオンライン化された後の行政の活用方法は、オンライン授業や、各種会議、研修会の開催、行政情報の配信などの活用に取り組む。

○再質問

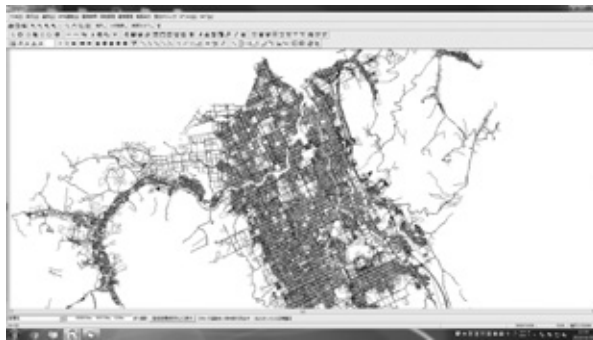
農業者とのオンラインでの圃場作付け作物の確認などを行っては。

奥山町長

圃場管理システムについて、各農業者の個人情報を含む

んでいるため、セキュリティの観点から担当職員以外、データにアクセスできない仕組みになっている。

耕地図などを希望される方は、オンラインによる農業者の方々の利便性の向上や、行政の効率化の可能性について調査、研究していく。



▲圃場管理システム

新たな会長としての抱負は

農業委員会青塚会長

7月の総会で会長に就任し、新体制で農業委員会がスー

トした。

役割として農地法等に基づく農地の売買や賃貸借の許可、利用集積集約化、遊休農地の発生防止や、新規参入の促進などが仕事であると考えている。

また、農業者が長期展望を持って、安心して農業に取り組めるよう行政に対して意見する役割も担っている。

○再質問

農地価格の推移・大区画化への考えは

農業委員会青塚会長

農地価格の推移は、農地法では相対による価格設定と農用地利用改善組合を通した軒旋調整による価格の設定がある。

田・畑それぞれの状況により価格の増減があり、近年で見ると横ばい、やや下降気味の傾向にある。

農地価格の調整は、それぞれの地域の平均売買価格を参考にし、価格水準を保ちながら慎重に行い、農地の集積、集約化に努めていくことが重

要であると考えている。

奥山町長

農地の大区画化については、農業経営の安定に欠かせない事業であるが、農業者の将来負担が大きくなることもあり、高い経営意識を持つ方々によって期成会を立ち上げ、土地所有者間の調整などの役割を担う必要がある。

町としては、今後も農業者の要望に応えることができるよう関係機関との連携に努める。



▲遊休農地の視察（農業委員会）

問 ごみ減量の推進に向けた取り組みは

答 一般ごみの有料化を検討

下條美恵議員



ごみの現状は

西和埋立処分場は平成14年に供用開始して以降、町民の理解と協力を得ながら延命をしてきたが、このまま埋め立てを続けると、約5年以内に満杯になると試算している。

そのため、将来における処理方法として、町民への負担を最小減に抑えられるよう検討した結果、新設ではなく、近隣施設への委託処理方式に移行すべく議論をしている。

しかし、この方式になると新たな分別区分が増えることとなり、加えてごみの有料化も課題となる。

本町のごみの現状とごみ減量の推進に向けた取り組み、また町民にどのような負担をお願いしていく考えなのか伺う。

奥山町長

本町のごみの現状は、昨年度、家庭からの排出量は893トンで、5年前の957トンと比較して64トン減少している。

内訳は、埋め立てごみは減

少傾向だが、粗大ごみは増加傾向にあり、町民1人1日当たりの排出量も増加している状況にある。

一方でごみの処理費用は年々増加しており、昨年度の町民1人当たりの費用は約16,600円で、5年前の約14,200円と比較して年間で1,900円増加している状況にある。

ごみの減少に向けた取り組みは、これまで資源ごみの分別やリサイクルなどに町民の



▲西和処分場

協力をいただいていたが、今後は、現在行っている近隣自治体への委託処理の検討に合わせて、ごみ分別の見直しや有料化についても検討を進める必要がある。

○再質問

ごみ分別の方法が変更される予定だが、町民への説明はどのようなスケジュールで行うのか。

住民課長

現在協議を進めている施設は、今年度と来年度、改修工事を行う予定で進めており、そのため現在は粗大ごみの受け入れを制限されている。

その改修工事が終了し、フル稼働できる時期が令和4年度のため、本町の燃やせるごみを受け入れられるのはそれ以降になる。

分別の変更も生じるため、品目ごとのすりあわせを行い、概ね終わっている。

ごみの減量化を一層進めるためには、有料化の検討もあるのですが、全ての案が整わなければ説明会の実施は難しいと

考えている。

但し、意見交換会のような形で、現状を説明して意見をいただくようなことは可能と考える。

○再質問

ごみ分別、防災、子育てなど行政に関することをラインアプリや公式アプリを利用して発信している自治体がある。取り組む考えは。

奥山町長

行政全般に渡って考えていかなければならない。

率先して取り組める環境を作っておくべきと考える。



士別市生活情報アプリ

石田利美議員



問 ホップ試験栽培の今後は

答 農家の方に取り組んで頂くため情報提供して行く

問 今後の公共交通機関は

答 存続すべきと判断している

ホップ栽培の
今後の方向性は

ホップは全国各地で栽培されており、大手メーカーとの契約栽培や、各市町村の地ビールの原料として使用されている。

和寒町の特産品としてキャベツ、カボチャ

があり、町長はホップを次の特産品に育てたいと言われたが、今後の考えを伺う。

奥山町長

今年の5月から、農業活性化センターで、将来の特産品としての可能性を探るため、10品種の試験栽培に取り組んでいる。

その結果が、カボチャや越冬キャベツなどに加えて、本町の特産品として農業者に作付けを希望してもらう作物なのか、継続して試験栽培に取り組む。



▲試験栽培中のホップ

○再質問

一番大事なのは、農業者が取り組んでくれるかどうか。

奥山町長

農業者の皆さんに、ここ3年のうち情報提供し、グループを作ってもらえれば、良いのかと現在考えている。

デマンドバスの拡充は

和寒町には様々な公共交通機関がある。

6月の医療体制に関する町民説明会で、新たなサービス案として、デマンドバスの運行本数の拡充を検討すると説明していたが、町長の考えは、

奥山町長

無床診療所化により診療時間が増える場合は、デマンドバスの拡充についても検討する必要がある。

○再質問

町長は、塩狩峠イコール塩狩駅、観光の原点だと言って存続をマスコミ等で表明しているが。

奥山町長

反対している方にも、できる限り理解していただけるような努力をしていく。

○再質問

公金を使った中で、町民が利用しない駅を継続するのはいかなるものか。

奥山町長

私の責任において、存続すべきと判断している。

Jクレジット認証を受けこれからの方向性は、についても質問しました。

10月16日 文書質問

質問

JR塩狩駅の維持費用の負担は、観光客誘致を考えた利用状況はあまりに少なく、町民の理解を得られない。維持管理に、ふるさと納税の利用を考えているようだが、民間団体で基金を創設して全国民に募ってみては。

答弁

JR北海道は、利用人数が1日3人以下の駅は、基本的に廃止する方針である。

存続を希望する場合は、維持管理費の支援が求められる。塩狩峠記念館や一目千本桜などが、塩狩駅と一体となつて本町の大切な観光資源となっており、民間の宿泊施設もあることから、存続は必要不可欠と考えている。

現在庁舎ほか、町内3か所に募金箱を設置し、また、ふるさと納税制度を活用しながら寄付金を募っており、さらに関係団体との連携や広報媒体等を活用し、塩狩関係の返礼品も工夫しながら、財源が確保できるようしていく。

問 ワッカウエンナイ川の復旧は 答 安全を守れる環境にしてい



酒向 勤議員



問 自転車通学の交通安全は 答 子どもたちを守る姿勢でやっていく

芳生苑側の堤体が洗掘されたままだが

大雨のたびに心配しているワッカウエンナイ川上桧2号樋管上流付近の堤体の早急な復旧が必要と思うが。

奥山町長

被災箇所について、平成29年度に被災し、管理者である北海道に復旧を要望した結果、年度内に復旧工事が行われた。しかし、平成30年度においても同じ法面が崩落したため、同年度中に再度復旧工事が行われている。

その後、令和元年春にも、芳生苑職員から同じ箇所では法面崩壊が発生しているとの連絡を受けて、町から道に対して、抜本的な工事を行うよう強く申し入れた。

結果、道からは、崩落箇所の復旧工事に係る工法の検討を行ってきたことや、この秋にも工事を実施するとの回答をいただいている。

町としても、ワッカウエンナイ川に関してこれまで道に剣淵川合流点から道道和寒鷹

栖線に架かる地鎮橋までの拡幅工事や、支障木の除去についても要望しており、今後もしっかり働きかけていく。

○再質問

先般の台風9号の時も、安城市の高齢者施設が災害に遭われたが、水害や台風が来る度に、高齢者施設や障がい者の施設がなぜ被害に遭うのか。また、和寒町の施設の今後

奥山町長

例えば昭和の時代は、迷惑施設として地域住民が来ることに反対する状況もあったので、その様な悲しい事情に見舞われる環境にも繋がったと思うている。

芳生苑の建て替えについて、これまでも議会にも相談しているが、現状の場所で建て替えるには、和寒町の土地であつてもなかなか難しい。

一方、災害のことを考えると、できる限り安全なところに、それも他の住民の方が避難できる環境に設置されるのが当然望ましい。



▲ワッカウエンナイ川堤体

ワッカウエンナイ川の洗掘場所に、芳生苑があるが、この施設が移転してもしなくても、住民の方々がたくさん住んでいるので、その安全を確保するのは当たり前と受け止めている。

今後、想定できない雨量を考えた時、決壊する不安があるのは当然だと思う。

道に、いろんな場面ですっかりした工法をお願いして、安全を守れる環境を作っていただくような要望をしていく。

自転車加害者にも被害者にもなる事故が起きているが

昨今、自転車加害者になる事故もあり保険の加入が勧められている。

また、被害を最小限にとどめるためのヘルメットなどの対策は。

沓澤教育長

本町の小中学校における自転車保険の加入状況は、民間保険会社に個人で加入する保険について、年度当初の4月に斡旋している。中学校では利用者70名全員が加入している。

ヘルメットについては小学校の自転車通学14名が全員着用、中学校では70名に対して僅かの着用。

道教育庁からも、児童、生徒に対し自転車の安全利用の注意喚起と、ヘルメットの着用や自転車損害賠償保険等への加入促進の通知があり、改めて学校から保護者へ周知をお願いしている。



厳しく審議！！

令和元年度の一般会計、5特別会計、病院事業会計の決算は、令和2年10月13日～15日の3日間にわたり、議長と議会選出監査委員を除く6名で構成された決算審査特別委員会(石田利美委員長・谷口勝弘副委員長)で慎重に審議されました。

町民の生活に直接関係する事業の決算だけに、委員各位から活発な質疑があり、会計ごとに討論を行い、採決の結果、各会計とも賛成多数で認定すべきものと決定しました。

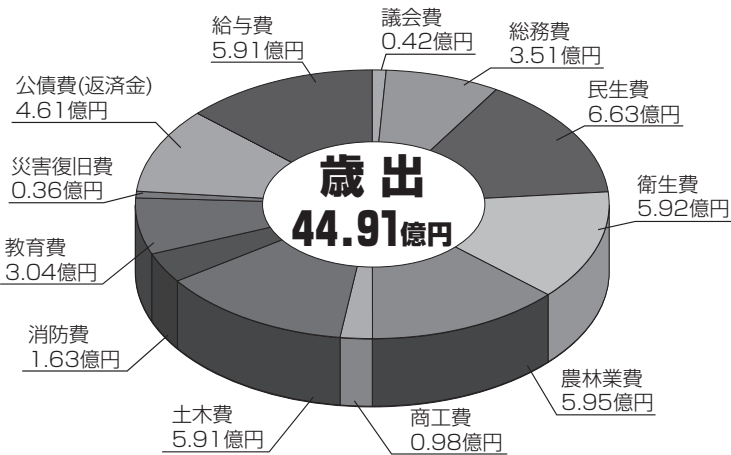
令和元年度 各会計決算状況 ※1万円未満切り捨て表記

会 計 別		予算額	収入額	支出額	差引残額
一 般 会 計		44億9198万円	44億7467万円	43億6686万円	1億780万円
国民健康保険特別会計		5億5503万円	5億5256万円	5億4641万円	615万円
簡易水道事業特別会計		1億7209万円	1億7021万円	1億6850万円	171万円
公共下水道事業特別会計		1億5867万円	1億5816万円	1億5466万円	349万円
後期高齢者医療特別会計		7081万円	7062万円	7014万円	48万円
介護保険特別会計	保険事業勘定	5億9643万円	6億111万円	5億8521万円	1589万円
	介護サービス事業勘定	1億969万円	1億995万円	1億921万円	74万円
合 計		61億5473万円	61億3732万円	60億102万円	1億3629万円
町立和寒病院事業会計		収益的収入	4億3896万円	収益的支出	4億4029万円
		資本的収入	458万円	資本的支出	752万円

一般会計

町民1人あたり約137万8566円

前年度対比9万6113円増



議 会 費	1万3028円	0.95%
総 務 費	10万7917円	7.83%
民 生 費	20万3688円	14.78%
衛 生 費	18万1894円	13.19%
農 林 業 費	18万2810円	13.26%
商 工 費	3万126円	2.19%
土 木 費	18万1540円	13.17%
消 防 費	5万188円	3.64%
教 育 費	9万3237円	7.12%
災害復旧費	1万926円	0.79%
公 債 費	14万1609円	10.27%
諸 支 出 金	31円	0.00%
給 与 費	18万1573円	13.17%

開催 ～予算への反映を～

ふるさとギフトは

ふるさとギフト

Q 和寒ふるさとギフト返礼品のランキングは。

A 1位はジンギスカン、2位はアスパラ、3位は米、4位はメロンとなっている。
3677件の寄付をいただき、735名にリピートしていただいた。



Q 米の返礼品は10kgしかなかった。

5kgの物を出さないが提案していたが。

A 令和2年10月より取り扱うこととした。

防災対策

Q どの自治会の防災活動へ、助成及び研修の協力をしたのか。

A 若草自治会で2名が防災士になったことで市街地全ての自治会は、防災士が在籍となった。
仲町自治会で行われた防災の研修に協力した。

中山間交付金

Q 傾斜地など、不利な農地の維持管理をするために、この制度がはじまった。

当初交付金の単価は

5割だったが、現在は8割になっている。
今後の対応は。

A どのようなサポートができるか、情報を収集しながら対応したい。

路線バス運行等業務委託

Q 利用者のいないバス待合所は移設するか撤去するべきと提案していたが。

A 幌加内線4号の待合所を11線8号に移設した。

にれっこ祝い金

Q 平成30年度16名、令和元年度10名、令和2年度は現在5名と年々出生者が減っており、保育や教育現場の雇用にまで影響が出てくる。

人口減の更なる策が

必要では。

A 子育て環境を整えているが若い方が定住する環境が整っていない。

何に取り組めば将来のためになるか検証する。



がん検診委託

Q 検診人数の減少はコロナの影響もあるのか。

A 1月～3月に予約していた方のキャンセルはあった。その他に人間ドックは受けてもがん検診を別に受けることが難しい方もいた。

令和元年度

決算審査特別委員会

初の10月

観光案内所の今後は

観光案内所

Q 利用者数は。

A 2758名。

Q 令和2年度まで試験的に運営する予定だったが。

A 令和3年度以降も続けていく。

剣淵町の道の駅内で何か行えないかなど、町内関係者の意見も聞きながら進めていく。

稲わらについて

Q 稲わらを燃やしている人もいるが、付加価値もあり、燃やさずに済むよう補助をしては。

A 毎年苦情は来ている。意識の高い方はロールにして出している。

J A北ひびきには課題として投げかけているが、踏み込んだ対策はないか検討している。

検定料補助

Q 小・中学生の検定試験の受験者数と合格率は。

A 漢字検定は、小学生が79名で77%、中学生が37名で35%。英語検定は中学生が48名で、

83%だった。英語は同じ試験を2回挑戦できる。検定料の1回目は町の負担で、2回目は自己負担になる。

救急搬送

Q 救急搬送の実績は。

A ドクターヘリ4件。救急車164件の内、平日が67件、平日夜間が46件、土・日が51件となっている。

Q 和寒町の救急車が出ていて、土別市から応援に来てもらったことは。

A 2件あった。

ヒルクライムレース

Q 東山スキー場の新たなイベントの参加者は。

A 令和元年度は町内57名、町外283名、合

計340名だった。

令和2年度の参加者は町内約50名で、総勢約560名だった。

コンビニエンスストアでは、弁当やおにぎりが売切れた。

歳入
住宅使用料

Q 条例で家賃の減免を受けている状況は。

A 62件。300万円の減額。

Q 敷金3カ月分は適切か。

A 住宅を出る時の修繕料に当てているが、足りずに追加で徴収している方もいる。近隣市町村の状況も調べる。



▲観光情報案内所

最大の 医療サービスを

令和2年8月31日、滝上町と、幌加内町を全議員で視察、研鑽を積みみました。

滝上町国民健康保険病院は、滝上町唯一の病院ですが、人口減少により、経営は悪化しています。厳しい運営状況の中、町民代表10名の「病院の在り方検討委員会」を設置。

令和元年9月から令和2年3月にかけて、8回の委員会を行い、町長へ次の内容で報告しました。

『令和3年度に19床以下の有床診療所へ移行し、今後の無床診療所への取り組みを行う。』

『安定した診療所体制の維持。常勤医師2名体制への取り組みをし、在宅医療等の推進を目指す。』

す。』
『住民がより身近に感じられるよう、情報発信を行う。』

これを受け、来年4月から有床診療所に移行し、将来は無床診療所とする意向となりました。今後懸念されることは、入院・時間外救急の廃止による住民生活への支障や、特養・障がい者施設入所者の、病床利用があることなどから、町民に不安を与えないよう、転換時期を適切に見極める必要があることとしています。



▲滝上町

幌加内町は町立幌加内診療所と、朱鞠内診療所があります。

人口減による経営の悪化・医師及び医療スタッフの確保、また建物の老朽化による病院の建て替えなどのことから、平成23年度、病院再編の検討を開始しました。

町政懇談会・議会との協議を3年かけて丁寧に行い、町民の不安の解消などを解決していきました。

平成26年に、病床部分を地域密着型特別養護老人ホームにして開設、国保病院は新築して無床診療所として運営しています。

この視察で、本町の無床診療所化も、町民の理解と不安の払しょく、無床化での課題点を解決してから進めるべきと考えます。

特に医師体制は常勤医師2名体制をしっかりと確保し、医師の負担軽減として、在宅医療推進を望

みます。
どの程度の予算で、最大の医療サービスができるか、町民の皆さんと考えていきたいと思っています。

	滝上町 国民健康保険病院	町立幌加内診療所
人 □	2500人	1400人
近隣市	紋別市	旭川市
病 床	一般病床26床 療養病床12床	無 床 緊急時には特養の ショートステイを利用
医 師	常勤医1名 非常勤医1名 常勤医を確保できず、 夜間救急は休止中	常勤医1名 非常勤医1名

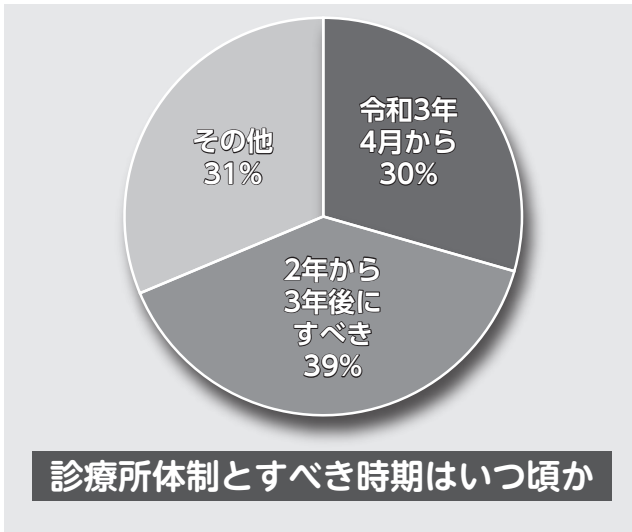
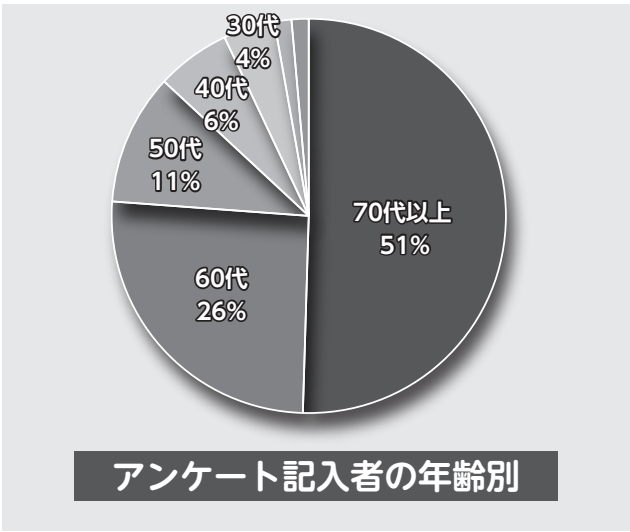


▲幌加内町

『町立和寒病院の医療体制』 町民アンケート調査の結果

和寒町議会では、町民の意見を伺い医療体制の方向性を検討していくため町民アンケート調査実施し、その結果について報告します。

- 1. アンケート期間 令和2年7月20日から8月12日
- 2. 回答者数 214件（回答率14.6%）



今後の医療体制はどのようにすべきか				
区分	維持	19床以下	無床	その他
未記入	1人	0人	1人	1人
20代	0人	3人	0人	0人
30代	1人	4人	3人	1人
40代	5人	4人	4人	0人
50代	5人	7人	10人	1人
60代	18人	14人	17人	6人
70代以上	32人	53人	19人	4人
合計	62人	85人	54人	13人

●紙面の都合により、内容の簡略化やすべてのご意見が掲載できておりませんのでご容赦願います。

また、アンケートへご協力をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。

皆さんの意見を参考とし、これから議論を続けていきたいと思っています。

- 表彰
- 和寒町表彰式に表彰される方々が決まりました。
(全員賛成可決)
- 功労章
- 褒田 道明様（三笠）
○田代 里志様（三笠）
○褒田 道悟様（西町）
- 功労表彰
- 森田 晴章様（三笠）
○西本 護様（三笠）
○堂前 和彦様（南町）
- 善行表彰
- 和寒コンクリート株式会社様（西町）
○故・横田茂夫様（西町）

10月13日開催
第3回町議会
臨時議会





和寒中学校の前期生徒会の生徒さんに学校生活などのお話を聞かせていただきました。



▲前副会長
松本 葵さん

🎤 コロナで休校中はどうしていましたか？

(松本) 学校から郵便で送られてきた課題を自宅で勉強しました。

(垂又) 昼夜の生活が逆転していました。

最初、勉強しない生活はよかったですけど、だんだん学校のありがたみを感じました。

一番は友達に会いたい、二番目に勉強したいと思いました。

(永易) そんなに勉強したいと思わなかった。

🎤 中体連が中止になってどう思いましたか？

(垂又) 練習していたのに中止になってショックで、モチベーションを保つのが難しく、友達みんな残念がりました。

自分は高校でも柔道を



▲前副会長
垂又 征吾さん

🎤 町への要望は？

子どもが気兼ねなく大

🎤 高校に進学して、リモート授業になっても大丈夫だね？

(松本) 大丈夫です。中学生で経験できたことはよかったです。

(松本) 生徒全員ではなかったですが、休校明けに参加しました。通信は途切れませんでした。

🎤 リモート学習体験はどうでしたか？

(永易) 夏の中体連に出られなかった人の分も背負って、クロスカントリースキーの大会では全国大会に出られるように頑張ります。



▲前書記
永易 幸太さん

🎤 議会への要望は？

中学生にアンケートなどで意見を聞いてほしいです。

🎤 進路の予定は？

(松本) 旭川の高校に進学したいです。

人と接するのが好きなので、それを生かした仕事がしたいと思います。

(垂又) 大学も柔道をしてオリンピックに出たいです。

そして、柔道を活かして警察官などの仕事に就きたいです。

(永易) 高校でもクロスカントリースキーを頑張りたいです。

広報委員の一言

10月に入り、少しずつ冬の便りが聞こえて来ている。北海道でも標高の高い山では、雪化粧の姿など目にするようになった。そういうえば、紅葉の便りが例年より少なかったように感じる。

私事ではあるが、9月の連休中、羊蹄山に登った。4合目で休憩中、70才過ぎの方も休憩していた。少し話し込む中、「この時期、この辺りの草木が紅葉していないのは珍しい。何時もなら赤や黄色があるのだが」と寂しそくに一面を眺めていた。私もそう感じながら、やはり温暖化の影響なのだろうと感じる。実際、秋と言えばサンマや鮭が筆頭に出てくるが、今年も品薄状態。確かにコロナも少なからず温暖化の影響があると言われる。なんとかせねばと感じるが……。人類の緊急の課題だ。(裕二)